

## ごみ減量化プロジェクトの経過報告

王寺町では、ごみ焼却時のCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、令和3年度より「ごみ減量化プロジェクト」を始動し、家庭から出る可燃ごみの1人1日当たりの量について、令和元年度の570gから▲100g（近隣1市8町の平均値470g）の達成をめざしています。

主な取組として、雑がみ回収袋の全戸配布（令和3年11月）や町内4か所の資源ごみ回収ステーション設置（令和4年4月）により資源ごみ収集量の増加を図り、可燃ごみの減量化をめざしています。

### 1. 目標

**可燃ごみ(1人1日あたり) ▲100g** [570g(R1実績) ⇒ 470g(R10目標)]

### 2. 現在のごみの量

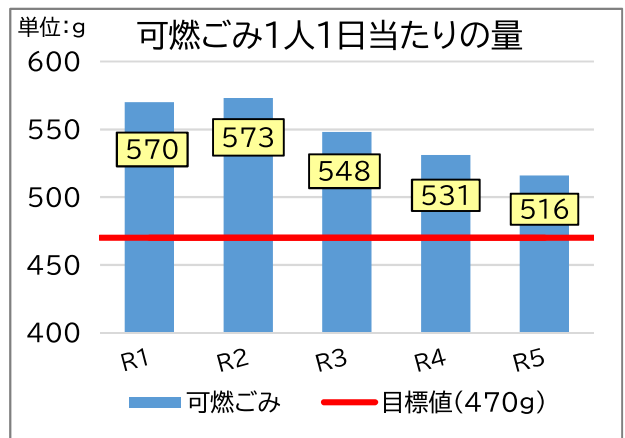
**可燃ごみ(1人1日あたり)の量**（令和6年3月末時点）  
**516g** [令和元年度570gから約▲54g]

令和5年度実績は、令和元年度の570gから約▲54gとなっており、目標の50%を超えています。

<家庭系可燃ごみ>

令和元年度 5,022t → 令和5年度 4,506t (▲516t ▲11%)

※令和4年度 4,654t



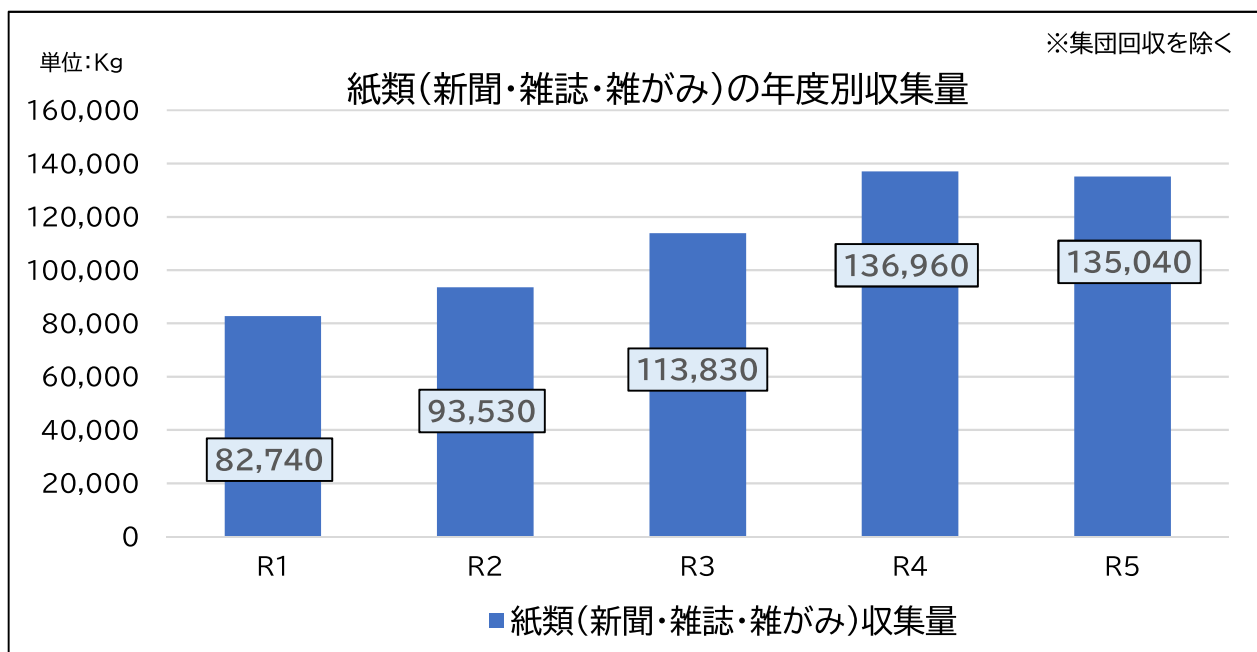
### 3. 雑がみ回収袋・資源ごみ回収ステーションの効果

紙類（新聞・雑誌・雑がみ）の収集量における令和5年度実績は、取組開始（雑がみ回収袋の配布）の令和3年度実績と比較して **18.6%増加** ➡ 可燃ごみの減少



リサイクルマーク

※雑がみ…新聞・雑誌・ダンボール・紙パック以外のリサイクル可能な紙



## 4. 令和6年度の取組み

### (1) 資源ごみ回収ステーションの周知徹底及び利便性向上

- いつでも資源ごみを出せる「**資源ごみ回収ステーション**」4カ所の周知徹底
- より利便性の高い場所への移設(文化福祉センター他)

【設置場所】旧中央公民館、いずみスクエア、文化福祉センター、清掃事務所

【利用可能時間】 8:30~17:15 (閉鎖日:年末年始、設置場所の休館日)

【対象資源】「ダンボール」、「新聞・雑がみ類」、「ペットボトル」、「紙パック」、「白色トレイ」、「空きカン類」

【利用状況】1,200kg~1,600kg/月(4か所)

うち、ダンボール 50%、雑誌・新聞 40%、ペットボトル、缶、トレイ、紙パック 10%  
(土日、祝以外は、原則毎日見回りを実施)

### (2) 義務教育学校での環境教育

- ・環境教育での**雑がみ回収袋**の配布  
(義務教育学校4年生対象※約250名)



環境教育  
(南義務教育学校)

### (3) 広報・啓発等による効果促進

- 広報紙への特集記事及び町公式サイトへの実績・効果の掲載等
- ひと回り大きいサイズの「雑がみ保管袋」を作成し、9月に再度全戸配布**  
容量を大きくし、保管用として、くり返し使っていただくことで、可燃ごみのさらなる減少をめざします。※ 使い方の詳細は [こちら](#)

### (4) 再生資源集団回収助成金

- 自治会や子ども会等が実施する集団回収の利用を促すため、王伸や自治会回覧板で啓発
- 再生利用可能な一般廃棄物の**集団回収活動を自主的に行う団体に対し助成金を交付(1kgにつき5円)**

|       |        |             |           |                  |
|-------|--------|-------------|-----------|------------------|
| 令和5年度 | 48団体登録 | (回収実績 470t) | 前年度より▲55t | 助成金額 2,350,000 円 |
| 令和4年度 | 52団体登録 | (回収実績 525t) |           | 助成金額 2,625,000 円 |
| 令和3年度 | 51団体登録 | (回収実績 548t) |           | 助成金額 2,740,000 円 |
| 令和2年度 | 52団体登録 | (回収実績 536t) |           | 助成金額 2,680,000 円 |
| 令和元年度 | 52団体登録 | (回収実績 616t) |           | 助成金額 3,080,000 円 |

